

青陽会の作品展  
**集大成の力作が「ふくちのち」を彩る**

「青陽会の作品展」が3月22日から25日まで図書館歴史資料館「ふくちのち」で開かれました。およそ30年前から中央公民館で絵画を学び合ってきた青陽会。活動の集大成として10人のメンバーが「福智町の風景」と「スケッチ旅行で出会った感動」をテーマに35点の力作を展示し、館内の広場を絵画で彩りました。



↑ 福智山や彦山川など、町を象徴する情緒あふれる風景も多く描かれた作品展。

↓ 午前中で完売するほどの盛況ぶり、お客さんが絶えなかった福智町ブース。



トヨタスプリングフェスタ 2017  
**福智ブランドをつなぐの力でPR**

トヨタ自動車九州主催による「スプリングフェスタ」が4月9日に宮若市で開かれ、福智町が出展しました。会場のグルメストリートで「方城すいとん」「大福おばちゃんのかしわおにぎり」「ふくち☆リッチジェラート」をPR。およそ350食を提供販売し、約1万人の来場者に、町と福智ブランドの魅力を発信しました。

ボランティアが河川清掃  
**地域の川へ感謝を込めて大掃除**

「ボランティア金田」が4月9日に中元寺川・彦山川合流地点河川敷で清掃活動を行いました。重機も使用した大規模な作業は朝7時から夕方までおよび、約5トンものごみを回収。新開弘光会長は「汚い川がきれいになるのは清々しいが、ごみを捨てる人が減り、汚れないのが一番」と毎月の活動を振り返りました。



↑ 10人が川の中まで入り、缶ごみのほかタイヤや自転車なども回収しました。

↓ 式の入場前、期待に胸を膨らませながら少し緊張した表情の市場小新入生。



町内8校で412人が入学  
**新入生が期待を胸にあらたな一歩**

町内の中学校3校で4月10日に、小学校5校で4月11日に入学式が行われました。本年度は、中学校で207人(赤池77、金田65、方城65)小学校で205人(上野8、市場66、金田67、弁城20、伊方44)が入学。市場小では、笑顔の新一年生が保護者や来賓の見守る体育館へ元気に入場。温かい拍手で迎えられました。

↓ 「キハ2004号を守る会」が茨城県の「ひたちなか海浜鉄道」から昨年譲渡された旧国鉄型車両。



「キハ2004号」一般公開  
**待望の車両をファンが間近に**

旧国鉄型気動車「キハ2004号」が4月16日に平成筑豊鉄道「金田駅」で一般公開されました。クリーム色の車体に赤のラインが入った1966年製の車両は、昭和30年代に九州を走った国鉄の準急ひかり号と同じデザイン。補修作業後初の一般公開となったこの日、待ちわびた鉄道ファンが大勢詰めかけ、座席などの内装や懐かしいエンジン音も体感しました。

ふくちのち道中ひざくりげ  
**音楽に乗った巨大な人形パフォーマンス**

アジア音楽に合わせてパフォーマンスを展開する「ふくちのち道中ひざくりげ」が3月21日に中央公民館で行われました。図書館・歴史資料館の開館を盛り上げようと「オザシキ オンガク フェスティバル実行委員会」が企画。集まった子どもたちは、迫り来る巨大な操り人形に、興奮しながら手を伸ばしていました。



↑ 巨大な竜やガイコツなどの操り人形が音楽に乗って迫り来るパフォーマンス。

↓ 宗像・沖ノ島と筑豊地域の文化関係や交流について語った講師の西谷正さん。



文化歴史講演会  
**宗像・沖ノ島の関連遺産群と古代の筑豊**

筑豊文化団体連合会と福智町文化連盟(探歩会)主催の「文化歴史講演会」が、3月26日に地域交流センターで開催されました。九州大学名誉教授の西谷正さんによる「宗像・沖ノ島の関連遺産群」と古代の筑豊にスポットを当てた内容。歴史ロマンあふれる話題に、会場の約100人が熱心に聞き入っていました。